

とおるテキスト日商1級(改訂新版) 工業簿記・原価計算() [総合、標準原価計算編] 改訂新版第1刷

弊社の書籍をご利用いただきありがとうございます。
以下の通り、誤りがございましたので訂正の上ご利用いただきますようお願いいたします。
ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

2010.04.15

ページ	訂正箇所	誤	正
1-2	用語集		後入先出法.....の部分を削除して下さい
1-3	Section 0 2級の復習		後入先出法に関連するものを削除して下さい
1-12~17	例、設例、Try it		後入先出法に関連するものを削除して下さい
2-15	最終行「いいぞ～」の参照場所	とおるゼミ ch2 問題1~3へ	とおるゼミ ch2 問題1~4へ
2-27	2.正常減損の加工換算量 の本文		見出し含め、加工換算量を 完成品 換算量に修正して下さい。
2-32	最終行「いいぞ～」の参照場所	とおるゼミ ch2 問題5へ	とおるゼミ ch2 問題5、6へ
3-11	4.各工程の仕掛品勘定	第1工程仕掛品 貸方科目 第2工程 第2工程仕掛品 借方科目 第1工程 第2工程仕掛品 貸方科目 第3工程 第3工程仕掛品 借方科目 第2工程	第1工程仕掛品 貸方科目 第2工程 仕掛品 第2工程仕掛品 借方科目 第1工程 仕掛品 第2工程仕掛品 貸方科目 第3工程 仕掛品 第3工程仕掛品 借方科目 第2工程 仕掛品
3-19	資料2.原価データ 月初仕掛品加工費	第1工程費 800 第2工程費 1,080	830 1,120
4-29~4-30	例3-2		条件に矛盾があるため、別途示している差し替え版をご利用下さい。
4-32	原価計算基準 28(2) [囲み内]	副産物で、加工の上売却できるものは、...	副産物で、加工の上売却 できるもの は、...
4-33	例4-1 3.その他(2)(3)		(2)を削除して、(3)を(2)に修正して下さい。
6-4	例1-1 資料1.	1.製品X1個当たりの正味製造原価(正常減損費を含まない原価)	1.製品X1個当たりの正味 標準 製造原価(正常減損費を含まない原価)
6-6	例1-2 資料5.	当月における減損発生量は2個である。	当月における 仕損 発生量は2個である。
6-7	例1-3 資料1.	1.製品X1個当たりの正味製造原価(正常減損費を含まない原価)	1.製品X1個当たりの正味 標準 製造原価(正常減損費を含まない原価)
6-13	例1-5 資料1.	1.製品X1個当たりの正味製造原価	1.製品X1個当たりの正味 標準 製造原価
6-17	仕掛品勘定(借方)	月初仕掛品原価 316 合計 6,566	月初仕掛品原価 356 合計 6,606
	仕掛品原価(貸方)	標準原価差異総額 790 合計 6,566	標準原価差異総額 830 合計 6,606
6-18	月初仕掛品原価の計算式	(@10,000円 + @800円) × 200個 + @10,000円 × 100個 = 316万円	(@10,000円 + @800円) × 200個 + @10,000円 × 140個 = 356万円
	ページの右下の労務費のボックス図	能率差異	労働時間差異
6-20	ページの中部の右側のボックス図	実際減損生産データ 20)	正常減損生産データ 20)
6-26	5.勘定記入 仕掛品勘定の借方	15,600	15,840²⁰⁾
6-29	例2-2 解答	労働歩留差異 100,000円(有利) 労働能率差異 200,000円(不利) 製造間接費歩留差異 76,000円(有利) 製造間接費能率差異 152,000円(不利) 操業度差異 216,000円(不利)	労働歩留差異 1,000円(不利) 労働能率差異 600円(不利) 製造間接費歩留差異 1,200円(不利) 製造間接費能率差異 720円(不利) 操業度差異 1,680円(不利)